

国道 1 号線 帰宅困難者対策訓練実施計画（案）

1 訓練目的

大規模な震災発生時、首都圏の公共交通機関の運行休止により、駅周辺では多くの滞留者で溢れ、市内を縦断する主要道路には徒歩帰宅者が大量発生し、大きな混乱が予想されます。

今回の訓練では、国道 1 号線沿線（多摩川から鶴見川まで）において、情報伝達、帰宅困難者の安全確保と混乱抑制に向けた避難誘導、災害時帰宅困難ステーションを利用した訓練を実施し、「災害時行動ルール」の検証を行います。

また、訓練を通じて、関係機関・団体相互の連携強化及び防災意識の向上を目指します。

2 実施日時

平成 28 年 2 月 24 日（水） 14 時 30 分～17 時 00 分（雨天決行）

※ 16 時 15 分から幸区役所 4 階第 4 会議室にて訓練の意見交換会を行います。

3 実施場所

国道 1 号線沿線（多摩川から鶴見川まで）

（1）情報受発信拠点 幸区役所

（2）その他施設 機関・団体の各施設

4 参加機関・団体

幸区災害対策協議会帰宅困難者対策部会

- （1）交通事業者 東日本旅客鉄道(株)横浜支社、川崎駅、尻手駅、鹿島田駅、新川崎駅、
(株)東急トランセ高津営業所、川崎鶴見臨港バス(株)、川崎市交通局
- （2）一時滞在施設 川崎市産業振興会館、幸市民館、ミューザ川崎、ホテルメッツ川崎、
（集客施設） ラゾーナ川崎プラザ、ジェクサー・フィットネス&スパ新川崎
- （3）商店街 川崎西口商店会、一社幸商店街連合会、かしまだ駅前通商店街振興組合
- （4）企業 キヤノン(株)矢向事業所、(株)東芝小向事業所、パイオニア(株)、
三井不動産ビルマネジメント(株)、三菱ふそうトラック・バス(株)
日本電産(株)、ユニキャリア(株)
- （5）行政機関 幸警察署、幸消防署、総務局危機管理室、幸区役所、横浜市鶴見区役所

5 訓練想定

（1）地震状況

発生日時：平成 28 年 2 月 24 日（水）15 時 00 分

震源地：川崎市直下

地震規模：マグニチュード 7.3

震度：6 強

気象条件：天候晴、気温 12℃

(2) 被害状況

鉄道は首都圏で全線運休

激しい交通渋滞

電気・ガス・水道等のライフラインは広範囲で機能損傷

通信は一般回線の電話不通

(3) 帰宅困難者

東京都（大田区）及び横浜市（鶴見区）から区内を通過する徒歩帰宅者が増加中また、川崎駅前には 19,000 人以上の帰宅困難者が発生・滞留し、区内各駅でも今後多数発生の見込み

6 訓練項目

(1) 各施設での安全確保と安否確認

(2) 各施設の安全点検

(3) 情報受発信拠点との連絡

(4) 帰宅困難者の誘導

(5) 帰宅困難者の受入れと備蓄品の配布

7 帰宅困難者の設定

(1) 国道 1 号線ルート〔尻手駅 ⇒ 幸市民館・図書館〕 帰宅困難者役 10 名

(2) 国道 1 号線ルート〔御幸公園 ⇒ 幸市民館・図書館〕 帰宅困難者役 10 名

(3) 国道 1 号線ルート〔尻手駅 ⇒ 鶴見区〕 帰宅困難者役 名

8 服装

服装は自由です。

当日の気候等に応じた訓練に適する服装をお願いします。

※訓練時には、川崎市で用意するビブス（ベスト）を着用していただきます。

9 訓練の中止について

(1) 荒天時又は各種気象警報が発令され、災害が発生する恐れがある場合は、訓練を中止します。

なお、訓練中止の判断は、当日午前 9 時に幸区役所が決定し、直ちに参加機関・団体に連絡します。

(2) 連絡を受けた参加機関・団体は、訓練参加者に連絡をお願いします。